

地域日本語教育 ブラッシュアップ講座 「学びたい」「通いたい」日本語学習の場を作ろう

<趣旨>

地域に暮らす外国人にとって、継続的に日本語を学ぶことが難しい場合があります。日本語学習へのやる気を促し、動機を維持するためにどのような工夫が考えられるでしょうか。本講座では、教室活動や教材作成の専門家を講師に迎え、具体的な活動内容や教材を紹介します。日本語学習が楽しくなる工夫と一緒に考えていきましょう。

<対象>

豊島区及びその近隣に在住または在学・在勤の方等で、

- ①地域の日本語教室の指導者、学習支援者等関係者 ②日本語教育の勉強をしている人

<講座スケジュール> 全 10 回 土曜日 14:00～17:00 * 各回の内容と講師は、裏面参照

●日程： 2016 年 7 月 23 日(土) ～ 2017 年 3 月 4 日(土)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年1月	3月
23日	6日	3日	15日 29日	19日 26日	10日	14日	4日

●会場：学習院大学目白キャンパス 南1号館1階 106号室

学習院大学目白キャンパスまでは

JR 山手線

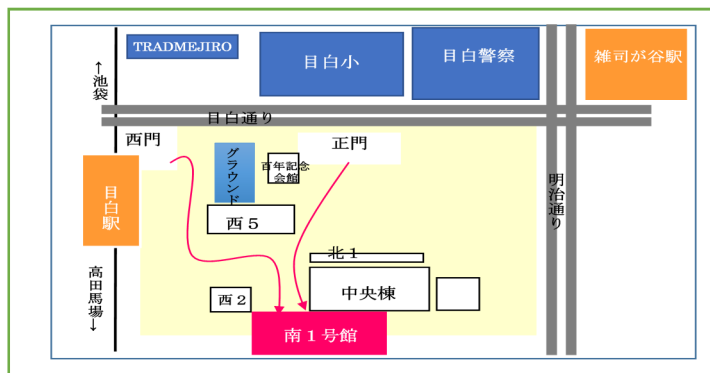
目白駅から徒歩 3 分

東京メトロ副都心線

雑司が谷駅から徒歩 7 分

都電荒川線

鬼子母神駅から徒歩 8 分



<お申し込み方法> * 定員は各回 20 名で、先着順に受け付けます。全回参加をお勧めします。

【メールによるお申し込み】

以下の項目を明記の上 waku2.nihongo@gmail.com までお申し込みください。

- ①氏名、
- ②電話番号、
- ③住所、
- ④メールアドレス、
- ⑤所属（ボランティア教室等）及び 活動地域
- ⑥全回参加の可否（全回参加できない場合は 参加可能な回）

* メールタイトルには「地域日本語教育ブラッシュアップ講座参加希望」とご記入ください。

* FAX での申し込みご希望の場合は、上記項目を記載のうえ、03-5992-1259 まで。

＜講座内容と講師＞

回	開催日	テーマ(内容)	講 師
1	7月23日(土) 14:00-17:00	「学びたい」「通いたい」を探る —続けたくなるのはどんな時?— 日本語を学び続けるのはなかなか大変なこと。「やる気」を振り返り、続けるための工夫について学びます。	学習院大学文学部教授 金田 智子
2	8月6日(土) 14:00-17:00	場に応じた日本語学習を考える —教室の中と外で何がどう違うのか— 地域在住の外国人が日本語学習を継続することを促すために、通信講座はどのような工夫が必要なのか、そして、対面授業は何を補うのかについて学びます。	日本ポリビア人協会理事 土井 佳彦
3	9月3日(土) 14:00-17:00	「知りたい」「話したい」を促す教材 —“Group Me!”の可能性— 教室を生き生きとした空間にするための知恵について学びます。ちょっとした工夫が大きな変化をもたらします。	玉川大学教育学部准教授 大谷 千恵
4	10月15日(土) 14:00-17:00	スマートフォン・タブレットは 語学学習に何をもたらすか—タッチUIによる “楽しさ・手軽さ・分かりやすさ”について考える— 黒板や紙の資料とは違うモノを使った教室の可能性について経験し考えます。	インターカルト日本語学校校長 加藤 早苗 Semiosis 株式会社・CEO 都築 鉄平
5	10月29日(土) 14:00-17:00	もっと話したくなる活動の設計(1) —「話したい」について考える— 学習者が日本語で「話したい」と思うのは、どんな時か? なぜそう思うのか? これを明確に掴み、教室活動で実現する方法を学びます。	公益社団法人国際日本語普及協会 所属教師 品田 潤子
6	11月19日(土) 14:00-17:00	文字学習を楽しく—連想法を用いたアプリ “Memory Hint”シリーズの可能性— 日本語のひらがな・カタカナ・漢字を楽しく覚えるための「連想法」を基礎から学びます。最新のアプリについても紹介し、その可能性を考えます。	国際交流基金関西国際センター 日本語教育専門員主任 熊野 七絵
7	11月26日(土) 14:00-17:00	やる気にさせる学習環境のデザインと 教材・教科書の役割 インストラクショナルデザインの観点から、やる気を引き出す、学習環境、教材、教科書について学びます。	武蔵野大学グローバル学部 准教授 島田 徳子
8	12月10日(土) 14:00-17:00	実際に使っている教材の分析と 学びを促すための工夫 市販教材、実際の使用教材を見直し、学びを促すためにはどんな工夫を加えたらよいかについて学びます。	武蔵野大学グローバル学部 准教授 島田 徳子
9	2017年 1月14日(土) 14:00-17:00	もっと話したくなる活動の設計(2) —「話せるようになる」について考える— 学習者が、日本語が「上達しそうだ」「上達している」と実感するのはどんな時でしょうか? 上達パスの見せ方と上達を実感できる教室活動を学びます。	公益社団法人国際日本語普及協会 所属教師 品田 潤子
10	3月4日(土) 14:00-17:00	大公開：新たな教材・活動 本講座に参加した方々、日本語教室で実践している方々が新たに開発した教材や活動を紹介し合います。	日本語教室実践者の方々 講師の方々

＜お問合せ先＞

学習院大学「地域日本語教育 ブラッシュアップ講座」係

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 東1号館 701 学習院大学国際研究教育機構

☎ 03-5992-1248 FAX 03-5992-1259

E-mail: waku2.nihongo@gmail.com

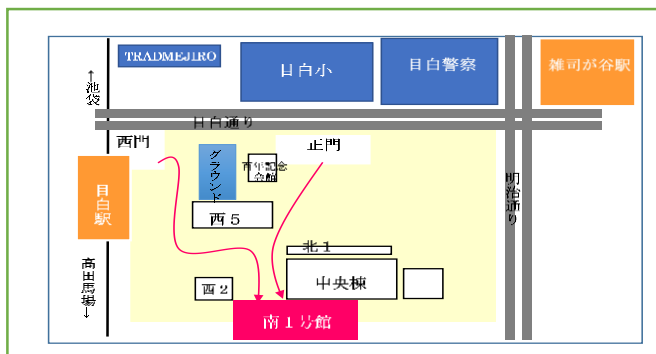
地域日本語教育ブラッシュアップ講座
～「学びたい」「通いたい」日本語学習の場を作ろう～ 第 10 回講座
大公開：新たな教材・活動紹介

＜日時＞ 2017 年 3 月 4 日(土) 14:00～16:00

＜会場＞ 学習院大学 南 1 号館 2 階 201 号室

学習院大学(会場)までは

JR 山手線 目白駅から徒歩 3 分
東京メトロ副都心線 雑司が谷駅から徒歩 7 分
都電荒川線 鬼子母神駅から徒歩 8 分



＜参加費＞ 無料

本講座は、教室活動や教材作成の専門家を講師に迎え、
地域に暮らす外国人の皆さんが継続的に楽しく日本語を学ぶために
どのような工夫ができるかを考えてきました。
最終回となる第 10 回講座では、本講座に参加した皆さんが、
自分で工夫したり、新たに開発した教材や活動を紹介し合います。

講座参加者以外の方も参加していただけるよう公開講座にしました。
皆様のご参加をお待ちしております。

＜対象＞

豊島区及びその近隣に在住または在学・在勤の方等で、

①地域の日本語教室の指導者、学習支援者等関係者 ②日本語教育の勉強をしている人

＜お申し込み方法＞ *使用教室に定員があるため、お早めにお申し込みください。

メールにて以下の項目を明記の上 waku2.nihongo@gmail.com までお申し込みください。

- ①名前、 ②電話番号、 ③住所、 ④メールアドレス、
⑤所属（ボランティア教室等）及び 活動地域

*メールタイトルには「地域日本語教育公開講座参加希望」とご記入ください。

*FAX での申し込みご希望の場合は、上記項目を記載のうえ、03-5992-1259 まで。

○ご記入くださった個人情報は本講座の実施以外の目的には使用いたしません。

（お問い合わせ先）学習院大学「地域日本語教育 ブラッシュアップ講座」係
〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 東 1 号館 701 学習院大学国際研究教育機構
☎ 03-5992-1248 FAX 03-5992-1259 E-mail: waku2.nihongo@gmail.com
学習院大学国際研究教育機構 HP <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/geore/>